

事業計画書

①団体名	一般社団法人 岡山県農業開発研究所		
②テーマ区分	指定テーマ ( 8 ) ・ 自由テーマ		
	該当するものを○で囲み指定テーマの場合は番号を記入してください。		
③事業名	モモペーストを利用した6次産業化による地域づくり推進事業	④これまで の採択回数	0回目
⑤現状及び課題	<p>・備中地域では、倉敷市玉島や浅原地区、総社市の吉備路地区など岡山県を代表するモモの産地を抱え、その他にも浅口市や高梁市、新見市などの産地を含めると瀬戸内海沿岸から中国山地まで全域でモモが栽培されている。その栽培面積は370㌔(平成28年産)を超え、県内の栽培面積の半分以上を占めている。(※1)</p> <p>・また、産地が南北に広がっていることから、早生から晩生までいろいろな品種のモモが栽培されており、中でも7月下旬から8月上旬にシーズンを迎える「清水白桃」は生食利用以外にもゼリーやジャムなどの加工にもたくさん使われている。しかし、その他の品種、特に晩生品種(おかやま夢白桃、川中島白桃、白麗など)についてはほとんど加工利用されておらず、総社地域の農家や選果場関係者からは、加工への利用を望む声が多い。(※2)</p> <p>・一方、来年4月には、備中地域のJA岡山西やJA倉敷かさや、JAびほく、JA阿新などの県内8JAが広域合併する予定で、生産している農産物についても、地域ブランドを活かしながら、新生「JA晴れの国岡山」の統一ブランドによる販売力の強化を図ろうとしており、農業開発研究所でもJA等とタイアップしながら、農産物の生産振興や農業者の所得向上、さらには地域の活性化に向けた支援を進めることとしている。(※3)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※1 岡山県でのモモの栽培面積</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年産 約667㌔ (岡山県農産課調)</li> </ul> <p>※2 岡山県で栽培されている主なモモの品種(早生品種～晩生品種)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日川白鳳、加納岩白桃、白鳳、清水白桃、おかやま夢白桃、川中島白桃、白麗、黄金桃 等</li> </ul> <p>※3、JAの広域合併の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>上記4JAの他に、JA岡山東、JAまにわ、JAつやま、JA勝英の4JAを加えた8JAが合併し、「JA晴れの国岡山」となる。本店機能は「岡山県農業会館(岡山市北区)」と「JA岡山西本店(倉敷市玉島)」の2ヶ所に置く予定。</li> <li>これで、岡山県のJAは「JA岡山」との2JA体制となる。</li> </ul> </div>		

- ・岡山県ではモモは生食利用されることがほとんどで、シーズンは夏場に限定されており、県内産のモモを使った周年利用が可能な「一次加工品」へのニーズが多い。
- ・一次加工品の中でも果物の「ペースト」は、保存性に優れており、「二次加工品」への活用も簡単で使用用途が広く、また、その加工工程は特殊な設備や機械を必要とせず、小規模な加工機器でも間に合うことから、初期投資を低く抑えることができる。比較的短期間に、かつ簡単に事業着手が可能で、工程管理もしやすいという特徴を持っているため、未利用のモモを利用した6次産業化により、農業者の所得向上が期待できる。(※4)
- ・なお、岡山県と同じように果物の栽培が盛んな福島県や和歌山県などでは、すでに、モモなどの果物のペーストやそれを使った飲料、シャーベット、シロップなどの6次産業化や農商工連携による加工利用に取り組まれており、新商品の開発が進められている。

そこで、モモのペースト加工とその二次加工に着目し、以下の1～3の事業内容に取り組み、6次産業化を目指す農業者や加工グループ、農商工連携を目指す食品製造業者などの発掘を並行して行い、次年度以降のモモ加工品の商品化を目指すものである。

## ⑥事業内容

### ※4 「ペースト」とは

- ・野菜や果物、肉や魚介類などを生のまま、又は、加熱した後、ミキサーなどですり潰して裏ごしした塊のない状態のものをいう。同じようなものに「ピューレ」があるが、「ピューレ」に比べると「ペースト」は水分が少ない。

1. 備中地域特産のモモを使った「モモペースト」の試作  
備中地域で栽培される白鳳、清水白桃、おかやま夢白桃、玄桃など6品種について、変色などを防止するための加熱や酸化防止剤の添加条件等を試験し、各品種が持つ風味や色を活かせる加工方法について検討する。
2. 「モモペースト」の利用  
商品づくりの技術、経験、知識などを持つ備中地域の食の専門家である食品製造業者とタイアップし、「モモペースト」の二次加工品への適性評価と、販売先、販売価格などの考えを取り入れながら、ペーストを利用したソース、ドレッシング類、菓子類等の二次製品の試作開発を行う。
3. 「モモペーストを使った二次製品」の評価・検討会等の開催  
試作した二次製品について、農業普及指導センター、パイヤー、消費者などとの評価・検討会等を実施し商品化に向けたブラッシュアップを行い、事業者の発掘を図る。

<p>⑦事業目的 (目指す直接の結果)</p>	<p>備中地域は岡山県を代表するモモの産地をたくさん抱え、県産のモモの半分以上を生産しているにも拘わらず、生食利用がほとんどで、ニーズはあるものの加工への仕向けは僅かである。そこで、年間3百万人を超える観光客が全国から訪れる倉敷美観地区などの新たな土産物にもなるモモの6次産業化に取り組むことで、地元での事業化をJAなどと協働でサポートするとともに、モモの生産振興と農業者の所得向上を目指す。</p>
<p>⑧今年度期待される成果 (短期アウトカム) その活動で得られる利益や変化</p>	<p>モモのペーストや二次製品の試作を行い、品種特性を調査し、特徴ある二次製品を開発する。さらに、評価検討会によるブラッシュアップを図り、商品づくりを提案することによりモモの加工用途の拡大や実需者の幅広いニーズへの対応を行う。</p>
<p>⑨将来的に期待される成果 (中・長期アウトカム)</p>	<p>備中地域を代表するモモの土産物づくりを行うことにより、生産拡大や農業所得向上による農業経営の安定化を図るとともに地域の活性化が期待できる。</p>
<p>⑩翌年度以降の事業展開の予定</p>	<p>本事業で蓄積したモモのペースト加工技術の指導を行い、6次産業化や農商工連携に取り組もうとする農業者や生産組合などの事業者の掘り起こしをJAなどとタイアップしてサポートすることにより6次産業化などの事業に向けた動きの活性化を図る。</p>
<p>⑪事業実施に関連する活動実績・アピールポイント</p>	<p>当団体は、昭和63年の開所以来、各種の農産加工機器を揃えた県内唯一の指導的研究機関であり、農産加工に関する知識・経験を有したスタッフが在籍し、県下のJA、農産加工グループ等に対して、農産加工に関する相談や技術指導を行ってきた。また、県内の食品製造業者、加工グループ、JA等を構成会員とした「岡山県6次産業化グループ協議会」の事務局として、商品開発や販路開拓などの6次産業化に必要な知識や技術向上を図る研修会の開催や会員の商品PR・販売などの支援を行っている。これらの経験や実績、ネットワークを活かすことで、調査、試作に最適な食品製造業者の選定をし、協力して事業の実施ができる。今後も、6次産業化に取り組もうとする農業者や農産加工事業者の発掘や事業化に向けた支援も行いやすい。</p>
<p>⑫想定される役割分担</p>	<p>【団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「モモペースト」及びそれを原料とした加工品の試作に向けた試験・研究</li> <li>・「モモペースト」を使った加工品の評価・検討会等の開催</li> </ul> <p>【県民局】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モモペーストを利用した6次産業化による地域づくり推進事業に対し、助言を行う</li> <li>・加工品の評価・検討会等の開催に向けた各行政機関との調整</li> </ul> <p>【理由・期待できる相乗効果】</p> <p>本事業により、農産物の加工品づくりが幅広く浸透することで、地域農業の振興や地域経済の活性化ならびに6次産業化に取り組む新たな事業体の育成につながる。</p>

